

令和5年度香川大学大学院修了式 学長告辞

本日、修士の学位を授与される209名の皆さん、修士（専門職）の学位を授与される59名の皆さん、そして博士の学位を授与される17名の皆さん、誠におめでとうございます。ここに令和5年度香川大学大学院の修了式を挙げていただくことは、皆さんの指導教員はもとより、香川大学教職員一同にとりまして大きな喜びであります。皆さんを支えて来られたご家族や関係者の皆様におかれましても感慨ひとしおと拝察いたします。また、今回、2年前に開設した文理融合型の「創発科学研究科」の修士課程からも初めて修了生を輩出することになり、誠に喜ばしく思います。

修了生の皆さんは、入学年度によって程度の差はあれ、2020年から3年余り続いた「新型コロナウイルス感染症」のパンデミックの影響を受けられたことと思います。感染拡大防止のために国を挙げて行動制限が行われたことで、香川大学でも教育・研究活動に大きな支障が出ました。海外渡航はもちろんのこと、国内であっても県境を越えた移動が制限され、共同研究や調査研究が思うに任せない時期もありました。研究発表の貴重な機会である学会も、中止や規模の縮小、あるいはオンライン開催を余儀なくされました。しかしながら、このような困難のなかにあっても、日々研鑽を積み、今日の日を無事迎えられた皆様に敬意を表するとともに、この間、大学として教育・研究の機会を十分に提供できなかったことを申し訳なく思っています。

大学院の目的は、学生が自ら選択した専門分野の学びを、研究活動を通じて深めるとともに、研究成果によって当該分野の学問の発展に寄与し、ひいては社会に貢献することだと思います。また、国家試験等の受験資格を得ることのできる専攻・コースにあっては、大学院修了後、当該分野のスペシャリストとして地域社会に貢献することも期待されています。

皆さんは専門分野の学習・研究に日々努力され、成果を挙げるとともに、勉学以外でもさまざまな経験を積むことにより、人間的にも成長し、社会が期待するポテンシャルを持って大学院修了を迎えられたに違いありません。指導教員を始めとして、在学中に知り合った教員、友人、先輩後輩たちとのネットワークはこれからも貴重な財産となることでしょう。

研究生生活に一旦区切りをつける方にとっても、さらに博士後期課程へ進学するなどして研究生生活を継続する方にとっても、今日は新たな出発の日です。どうか自信と誇りを持って、これからの人生の目標に向かって前進してください。社会人入学の皆さんにおかれましては、仕事と勉学を両立させるのに大変なご苦勞があったものと推察いたします。大学院で得られた業績や経験、培った人的ネットワークが今後のキャリアに活かされることをお祈りします。

皆さんが本日取得された「修士」あるいは「博士」という学位は、ただ単に学歴を表すものではなく、当該専門分野の研究を实践したことの証であり、到達した学問の高みを保証するものです。国際化が進む現代社会では、これらの学位を有していることがいっそう重視されるようになってきています。皆さんは、研究活動を通じて物事を客観的に見つめる習慣を

身に付け、論理的思考を養い、仮説を科学的に検証する経験を積まれました。昨今、情報ネットワークの普及により世間には情報が溢れており、そのなかには意図的なフェイクニュースや、誤りとまでは言えなくても科学的根拠の乏しい情報も数多く含まれています。皆さんは、情報を鵜呑みにするのではなく、批判的に吟味し、その真偽や有用性を自ら判断する能力を獲得できたのではないかと思います。

大学院修了後に皆さんが活躍される現在の社会には、さまざまな地球規模の、あるいは地域における課題が山積しています。そのなかでも特に人口減少・地球温暖化・人工知能の発達は、いずれも人類史上まれにみる大事件であり、そのようなことが同時に進行しているという点で、私たちはまさに歴史の転換点に居ると言えます。これらの課題は、すべてではないにせよ、私たちが豊かな生活を享受するのと引換えに、ある種、必然的に発生したと考えられることから、皆で英知を結集して、解決に向けて取り組まなければなりません。

社会構造が急激に変化する中、私たちは複雑で予測しがたく問題の本質が見えにくい時代に生きており、その中で求められている能力とは、既成概念にとらわれず、柔軟に発想することにより、新たな課題を発見し、その解決法を考え、そして解決に向かって実際に行動する能力です。皆さんには、若者の持つ新しい視点や、変化に対する適応力や行動力をもって、さまざまな分野でリーダーシップを発揮し、社会変革の担い手になることを大いに期待しています。

ところで、香川大学ではこの4月から「創発科学研究科」に博士後期課程を開設します。博士号には学術・工学・危機管理学の3種類がありますが、特定の専門分野に限定しない文理融合型の博士人材養成コースであり、新たな社会課題を発見し、解決に向けて取り組み実装することで、持続可能な社会の実現に貢献することを理念に掲げています。我が国では、研究活動における国際競争力の低下が喫緊の課題になっており、博士人材の活躍が大いに期待されています。本日、さまざまな研究科の修士課程を修了して社会人となる皆さんにも、将来、学び直しやキャリアアップ等の機会に博士後期課程への進学を検討して頂ければ幸いです。また、短期集中的に特定のテーマについて学ぶ「リカレント専門講座」も用意しています。人生百年時代と言われる長寿社会において、香川大学は、生涯に渡ってさまざまに活用して頂ける「地域に根差した知の拠点」でありたいと願っています。

最後に、修了生の皆様の前途を祝し、そして修了生とそのご家族、関係者の皆様方のますますのご健勝とご多幸をお祈りして、告辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和6年3月24日

国立大学法人香川大学長

上田 夏生